

Q：『英語ノート』から『Hi, friends!』に改訂されましたが、
どのようなところに気をつけて利用すればよいでしょうか。

A：利用の仕方は今までと変わりません。

『Hi, friends!』の特徴を意識して利用しましょう。

『英語ノート』が洗練されたものと考え、『Hi, friends!』の意図された特徴をおさえながら利用してみましょう。

アドバイス

コンセプトを知ることが上手に利用する近道です。

①タイトルに願いがこめられています。

小学校の外国語活動を体験する2年間で、言葉で会話することの楽しさや大切さを感じてもらいたい。コミュニケーションの第一歩があいさつからという願いから『Hi, friends!』と付けられました。つまり、より楽しいコミュニケーション活動をねらいとしているのです。

②総ページ数や活動数が減りました。

総時間数が35時間のまま、総ページ数や単元の数が減ったことで、それぞれの活動に十分時間をかけて取り組むことなどができるようになりました。時間配分の弾力化が図られ、一単元の活動をより充実したものにできるようになりました。

③年間指導計画や学習指導案はサポートされています。

教師用指導書に掲載されていない年間指導計画や学習指導案は、文部科学省ホームページ、Hi, friends! 関連資料に掲載されています。ダウンロードして活用しましょう。

④デジタル教材の充実。

世界の子どもや生活の様子が収録された動画、実写版のスキット、ネイティブスピーカーの発音口頭モデルやカラオケバージョンのチャンツなどが映像を使ったものとなっており、充実が図られています。また、600枚もの絵カードをプリントアウトして使用することができます。このデジタル教材を効果的に利用することで、外国語活動の時間がより充実したものになるでしょう。

⑤各単元が4つの活動で構成されています。

全ての単元において、「Play」「Listen」「Chant」「Activity」の4つの活動が設定されています。それぞれの活動には、外国語への慣れ親しみや、言語や文化に関する気づきというねらいがあります。このねらいにポイントをあてて、活動を展開していけるとよいでしょう。

⑥中学校との連携が意識されています。

例えば、「Lesson6」のアルファベット探し体験は、中学校でのアルファベットの発音や綴りの学習に接続しています。また、『Hi, friends!』を小学校で十分に活用しておくことが、中学校での英語学習の基礎となるのです。

『Hi, friends!』を教えるという気持ちではなく、
『Hi, friends!』を楽しむ気持ちで利用しましょう！